

講義科目名称： 国際看護論

授業コード： 2230500100

英文科目名称： Global Health Nursing

|            |     |     |        |
|------------|-----|-----|--------|
| 開講期間       | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 前期         | 1学年 | 1単位 | 必修     |
| 担当教員       |     |     |        |
| ◎谷本千恵、黒崎美月 |     |     |        |
|            |     |     |        |
| 添付ファイル     |     |     |        |
|            |     |     |        |

|      |  |
|------|--|
| 授業種類 | <p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎谷本 千恵 黒崎 美月</p> <p>【研究室】 312 共同研究室2</p> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程 保健師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】</p> <p style="text-align: center;">○ ◎</p> |
|------|--|

|         |  |
|---------|--|
| 到達目標    | <p>1. 国際的な視野から健康問題や看護問題を考えることができ、国際社会で活躍できる能力を養う。</p> <p>2. グローバルヘルスの現状と課題、国際機関の役割や国際保健政策、国際看護活動について理解し、看護の国際協力の実践や日本における多文化共生と看護の役割について考える。</p>   |
| 授業概要    | 看護のグローバル化、多様な文化と看護、看護の国際協力活動などについて学習する   |
| 授業計画    | <p>1 授業内容<br/>授業形態：対面<br/>学習課題：グローバル化と国際看護<br/>学習内容：国際看護学の目的・対象、国際看護学に関する基礎知識<br/>担当：谷本</p> <p>2-3 授業内容<br/>授業形態：対面<br/>学習課題：世界の健康問題と国際保健<br/>学習内容：Global Health Issues、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、MDGs、SDGs<br/>担当：谷本</p> <p>4 授業内容<br/>授業形態：対面<br/>学習課題：国際協力のしくみ<br/>学習内容：国際協力の諸機関と役割、政府開発援助（ODA）<br/>担当：谷本</p> <p>5 授業内容<br/>授業形態：対面<br/>学習課題：文化に考慮した看護<br/>学習内容：文化に考慮した看護に関する理論・モデル、看護の実践<br/>担当：谷本</p> <p>6 授業内容<br/>授業形態：対面<br/>学習課題：国際看護の実践①<br/>学習内容：海外における看護活動の実践<br/>担当：黒崎</p> <p>7 授業内容<br/>授業形態：対面<br/>学習課題：国際看護の実践②<br/>学習内容：上越市における外国人医療支援の実践<br/>担当：ゲストスピーカー</p> <p>8 授業内容<br/>授業形態：対面<br/>学習課題：在日外国人・訪日外国人への保健医療の現状と課題・支援、まとめ<br/>学習内容：<br/>担当：谷本</p> |
| 事前・事後学習 | ・事前学習：学習課題に関連するテキストの指定範囲を熟読し、重要な事項や用語についてノートにまとめておくこと。SDGsの取り組みの実践や海外での国際看護活動、国内における外国人への看護の例について調べておくこと。  |

|                 |   |
|-----------------|---|
|                 | <p>くこと。</p> <p>・事後学習：学習内容について講義内容やテキスト、配布資料をもとに整理し、学習上課題となった知識を自己学習すること。国際的な健康問題とその対策、文化に考慮した看護について整理すること。今後、国際社会で看護職に求められる姿勢や役割について考察すること。</p>   |
| 評価方法、評価基準       | <p>試験 90%：期末試験として、到達目標 1 と 2 の達成度を評価する。</p> <p>レポート10%：到達目標 2 の国際看護活動の実際についての学びと考察を記載する。</p> <p>授業回数の2/3以上の出席者を評価対象とする。</p>   |
| 必携図書            | <p>浦田喜久子編集：系統看護学講座 統合分野「災害看護学・国際看護学」看護の統合と実践③、第4版 医学書院、2019</p>   |
| 参考図書・資料等        | <p>講義の際、適宜提示する。</p> <p>森 淑江他編集：国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために 看護学テキストNICE 南江堂、2019</p> <p>国際看護学会著：国際看護学入門 第2版 医学書院、2020</p> <p>大友一友，岩澤和子編集：国際化と看護：日本と世界で実践するグローバルな看護を目指して メディカ出版、2018</p> <p>柳澤理子編著：改訂版 国際看護学 看護の統合と実践、PILAR PRESS、2017</p> |
| 受講、課題、資料配布等のルール | <p>無断入退室、私語など他の学生の迷惑になる態度は慎んでください。資料は随時配布する。</p> <p>出席・感想カードの提出をもって出席の確認を行う（未提出の場合は欠席となる）。授業開始から20分を超える遅刻は欠席とみなす。</p>   |
| 教員からのメッセージ      | <p>日本は多文化共生社会を目指しており、今後外国人の患者や同僚に接する機会が増えることが予想されることから、海外における協力援助・看護活動のみならず国内での看護活動においてもグローバルな視点が求められており、国際看護を学ぶ必要性が高まっています。</p>  |
| オフィスアワー         |   |